

取扱説明書

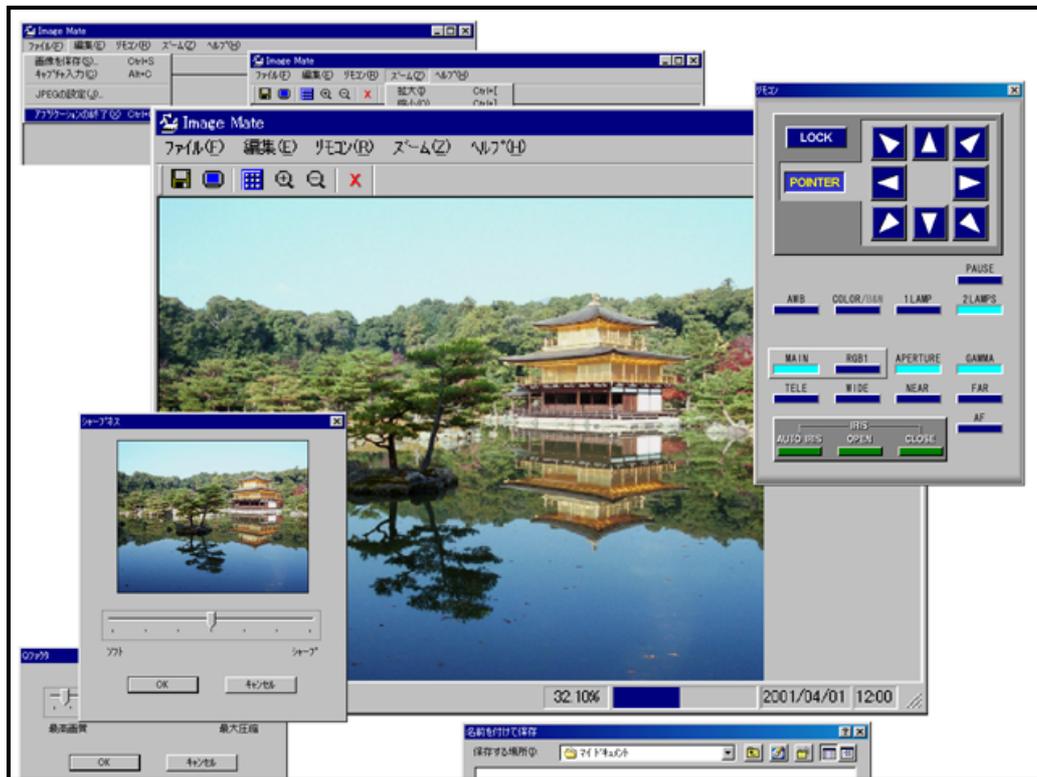


Image Mate™ for HV-400XG/3000XG/3500XG

Version 1.2 for Windows 98/Me/2000/XP

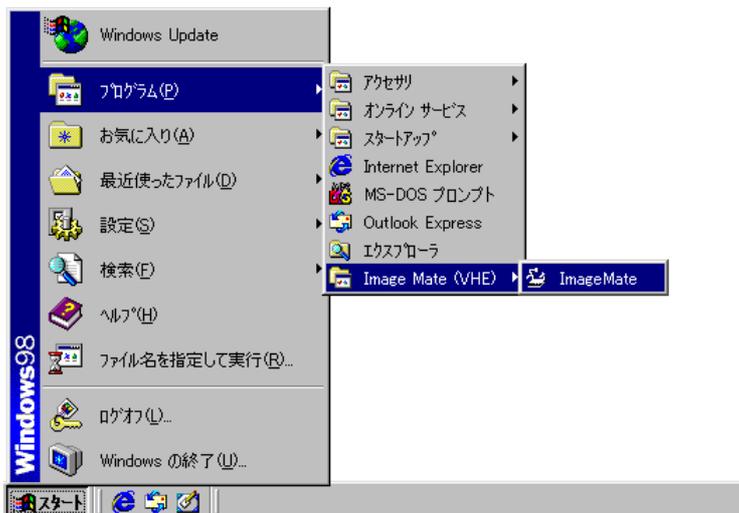
アプリケーションを起動する

準備

「ビジュアルプレゼンター」本体の電源を入れ、付属の USB ケーブルでコンピューターと接続します。

Image Mate の起動

Windows のスタート メニュー から [プログラム] - [Image Mate (VHE)] の [Image Mate] で起動します。



メイン ウィンドウ

アプリケーションが起動すると、下記のメイン ウィンドウが表示されます。ここでは各部の名称と働きについて概略を説明しています。



メニュー バー

ファイル(F) 編集(E) リモコン(R) ズーム(Z) ヘルプ(H)

このアプリケーションで使用できる機能が表示されています。アプリケーションの状態によって使用できない機能は淡い灰色になっています。

ファイル

画像を保存	View に表示されている画像をファイルに保存
キャプチャ入力	本体の画像をパソコンへ取り込む
JPEG の設定	JPEG 形式で保存する際の画像の品位を設定
アプリケーションの終了	アプリケーションの終了

編集

シャープネス	View に表示されている画像のシャープネスを調整
--------	---------------------------

リモコン

リモコンの表示	リモコンを表示
リモコンの非表示	リモコンを消す

ズーム

拡大	View に表示されている画像を拡大して表示
縮小	View に表示されている画像を縮小して表示
ウィンドウにフィット	ウィンドウのサイズに合わせて画像を表示
ピクセル等倍	View に表示されている画像を等倍(100%)で表示

ヘルプ

バージョン情報	アプリケーションのバージョンと著作権を表示
---------	-----------------------

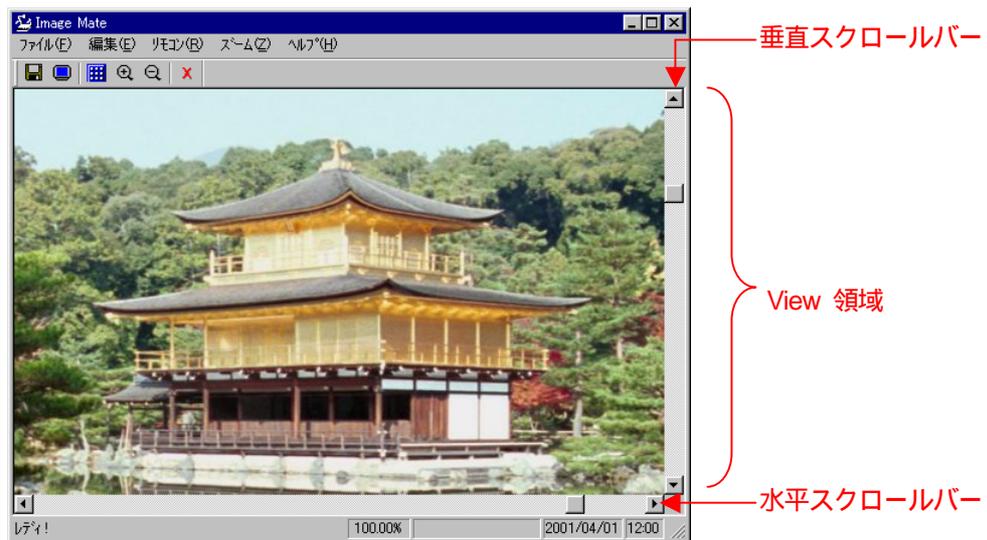
ツール バー



メニューの機能の中で、特に使用頻度の高いものが並んでいます。

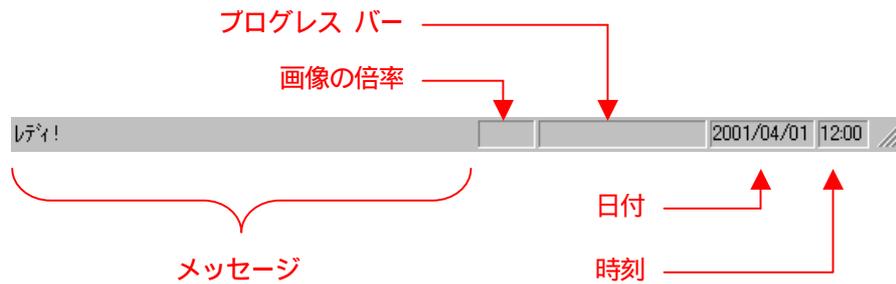
- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
|  | View 領域に表示されている画像をファイルに保存 |
|  | 本体から画像を取り込む |
|  | リモコンの表示と非表示をトグルで切り替え |
|  | View 領域に表示されている画像を拡大 |
|  | View 領域に表示されている画像を縮小 |
|  | アプリケーションを終了 |

View 領域



キャプチャされた画像は View 領域に表示されます。画像が View 領域に入りきらないときは、水平スクロールバーと垂直スクロールバーが自動的に現れます。

ステータス バー



アプリケーションの状態、View 領域に表示されている画像の倍率や現在の日付と時刻を表示します。

メッセージ

アプリケーションの状態を表示します。

画像の倍率

View 領域に表示されている画像の倍率を%で表しています。

プログレス バー

画像をキャプチャしているときの進行状況を表示します。

日付

現在の日付を表示します。

時刻

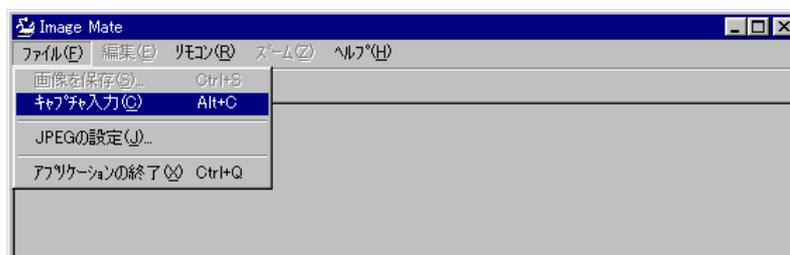
現在の時刻を表示します。

ビジュアルプレゼンター本体の画像を取り込む

画像をキャプチャする

ビジュアルプレゼンター本体のカメラの画像をアプリケーションに取り込むことができます。キャプチャされる画像のサイズは 1024 x 768 ドットです。メニューやポインタはキャプチャされません。

1. ステータス バーのメッセージに「レディ!」と表示されていることを確認して下さい。「レディ!」でないときは、キャプチャすることはできません。
2. ツール バーの  「キャプチャ入力」か、メニュー バーの [ファイル]-[キャプチャ入力]を選択します。



3. キャプチャが開始されます。ステータス バーのメッセージに「ビジー!」と表示され、進行状況がステータス バーに表示されます。



キャプチャ中は、本アプリケーションでの他の操作はできません。
キャプチャ中にプレゼンタ本体の電源を切ったり、USB ケーブルを抜かないようにして下さい。
本体がフリーズ(PAUSE)時の画像をキャプチャすることはできません。

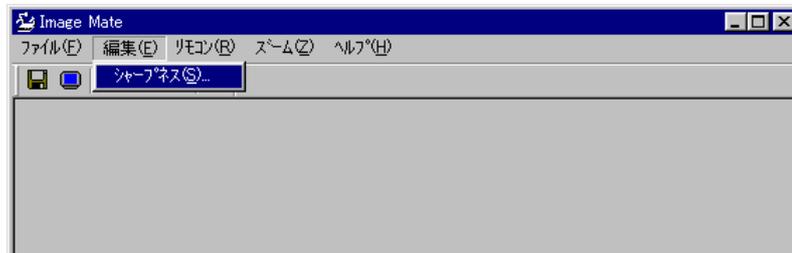
- 4 . キャプチャが終了すると、キャプチャされた画像が View 領域にフィットする倍率で表示されます。



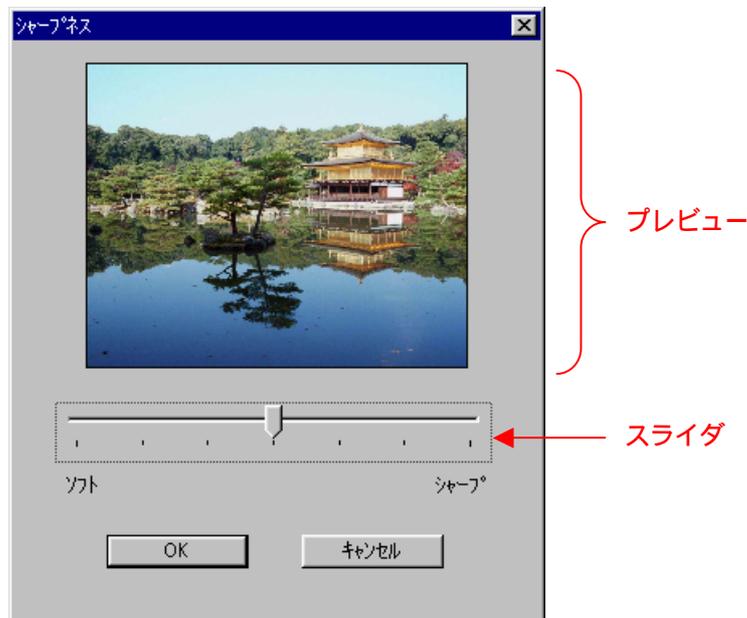
シャープネスの設定

キャプチャした画像のシャープネスを調整することができます。
一度調整を行うと、再度調整を行うまでその状態が維持されます。

1. メニュー バーの [編集]-[シャープ 仮...]を選択します。



2. シャープネスのダイアログが開きます。画像をはっきりさせたいときは、スライダを「シャープ」側へ移動させ、画像をソフトにしたいときは、スライダを「ソフト」側に移動させて画質を調整します。



3. シャープネスの調整が終わり、View 領域の画像に反映させたいときは「OK」ボタンをクリックします。中止したいときは「キャンセル」ボタンをクリックします。

View 領域の画像を 拡大 / 縮小 表示する

View 領域の画像を拡大する

View 領域に表示されている画像を 10%単位(オリジナルのサイズが 100%)で拡大して表示します。

1. ツール バーの  「拡大」か、メニュー バーの [Z]-[+] [拡大] を選択します。

拡大するときは、View 領域に表示されている画像の中心を基準として大きくなります。



View 領域の画像を縮小する

View 領域に表示されている画像を 10%単位で縮小して表示します。また最小の倍率は 10.00% です。

1. ツール バーの  「縮小」か、メニュー バーの [Z]-[-] [縮小] を選択します。

縮小するときは、View 領域に表示されている画像の中心を基準として小さくなります。



View 領域の画像をウィンドウにフィットさせる

キャプチャされた画像の全体が表示されるようにします。

1. メニュー バーの [Ctrl+M]-[ウィンドウにフィット]を選択します。



View 領域の画像をピクセル等倍にする

キャプチャした画像のオリジナルサイズ(倍率 100%)で表示します。

1. メニュー バーの [Ctrl+M]-[ピクセル等倍]を選択します。

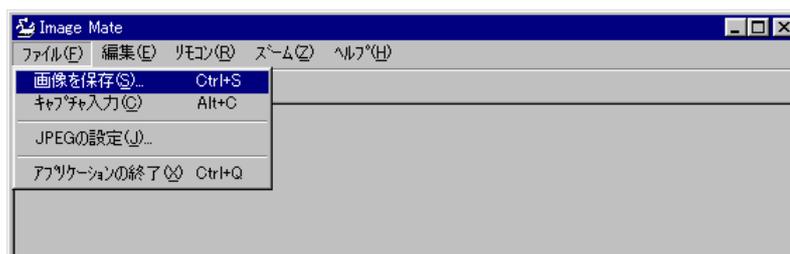


画像を保存する

画像を保存する

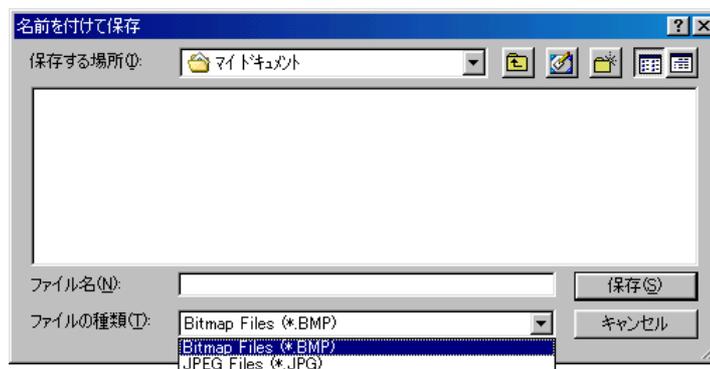
キャプチャした画像をファイルに保存できます。保存できるファイルの形式は、ビットマップ形式と JPEG 形式です。

1. ツールバーの  「保存」か、メニューバーの [ファイル]-[画像を保存]を選択します。



2. [名前を付けて保存]ダイアログが開きますので、保存する場所、ファイル名とファイルの種類を設定します。

保存するファイルの形式は、ダイアログ中の「ファイルの種類」でビットマップ形式か JPEG 形式かを選択します。

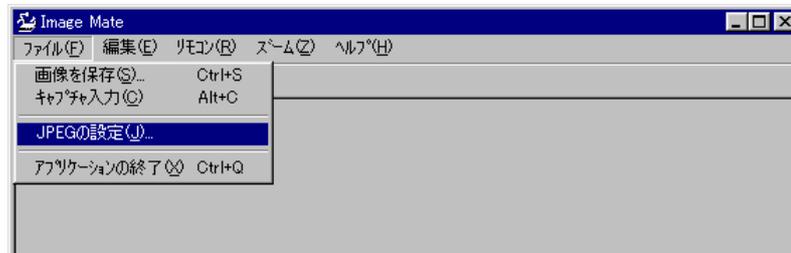


ファイルに保存する場合は、「保存」ボタンをクリックし、中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

JPEG 圧縮率を設定する

JPEG 圧縮率(Q ファクタ)を設定することにより、JPEG で保存する画像の画質を設定することができます。一度調整を行うと、再度調整を行うまでその状態が維持され、画像を JPEG 形式で保存するときに反映されます。

1. メニュー バーの [ファイル]-[JPEG の設定] を選択します。



2. Q ファクタのダイアログが開きます。画像を高画質で保存したいときは (ただし、ファイルサイズは大きくなります) スライダを「最高画質」側へ移動させ、ファイルのサイズを小さくしたいときは (ただし、画像は劣化します) スライダを「最大圧縮」側に移動させて調整します。



3. 調整が終わり、Q ファクタを有効にさせたいときは「OK」ボタンをクリックします。中止したいときは「キャンセル」ボタンをクリックします。

リモコン

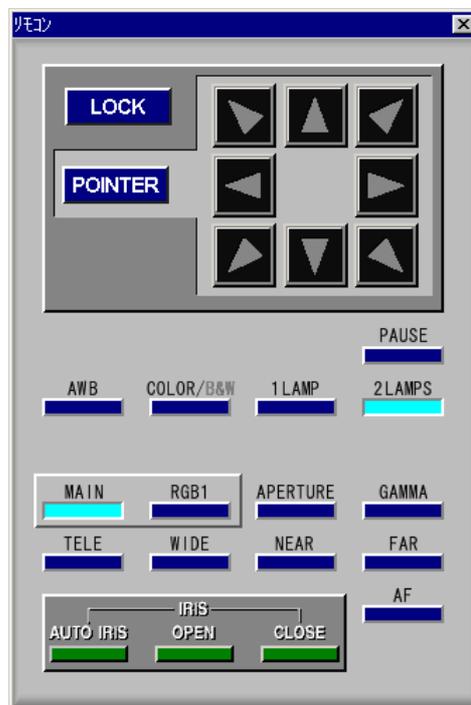
リモコンを表示させる

アプリケーションからビジュアルプレゼンター本体をコントロールすることができます。コントロールするには、リモコンを表示させる必要があります。

1. ステータスバーのメッセージに「レディ!」と表示されていることを確認して下さい。
「レディ!」でないときは、リモコンを表示させることはできません。
2. ツールバーの  「リモコン切替」か、メニューバーの [リモコン] [リモコンの表示] を選択します。



3. リモコンが開きます。

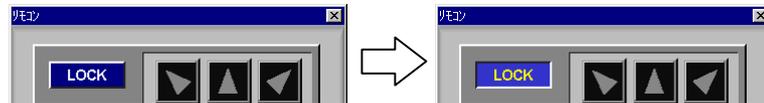


リモコン表示中に本体を操作してもリモコンには反映されません。

リモコンでビジュアルプレゼンター本体を制御する

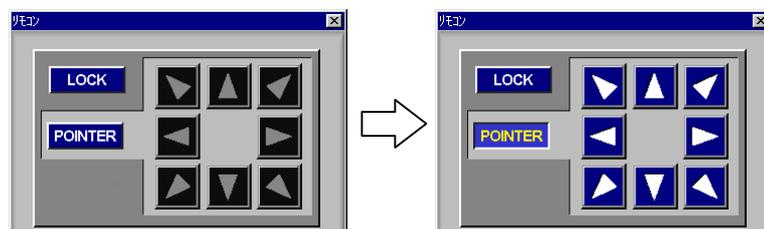
ほとんどの操作は、本体に付属しているワイアレスリモコンと同じです。
ここでは、ワイアレスリモコンと異なる点について説明します。

[LOCK]ボタン



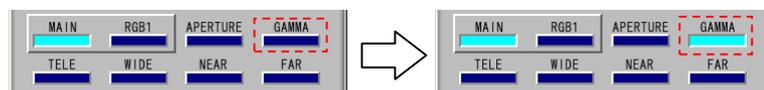
[LOCK]ボタンをON(押し下げた状態)にすると、本体側でのコントロールは禁止されます。OFF にすると解除されます。

[POINTER]ボタン



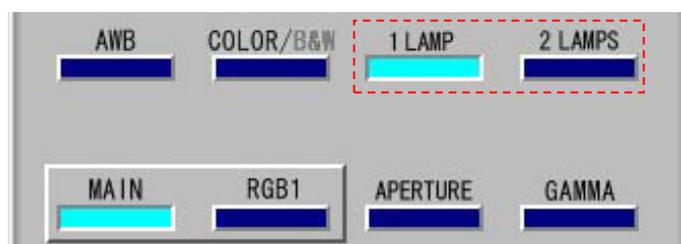
[POINTER]ボタンをON(押し下げた状態)にすると、矢印ボタンが使用できるようになります。

[GAMMA]ボタン



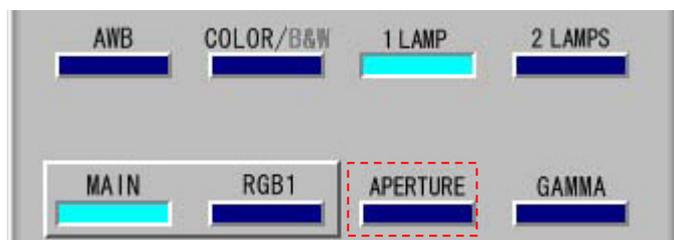
本体のガンマ補正を切り替えるボタンです。

[1 LAMP], [2 LAMPS]ボタン



本体の照明を選択します。

[APERTURE]ボタン

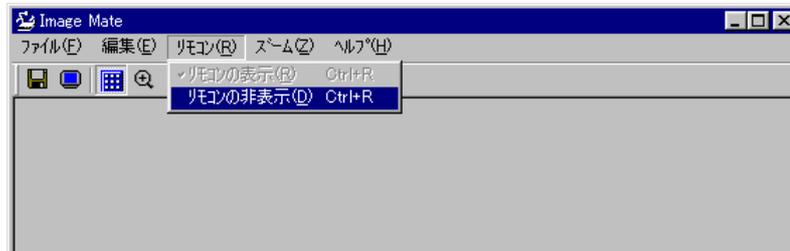


本体の APERTURE を選択します。

リモコンを非表示にする

不要になったリモコンを非表示にします。

1. ツールバーの  「リモコン切替」か、メニューバーの [リモコン]-[リモコンの非表示]を選択します。

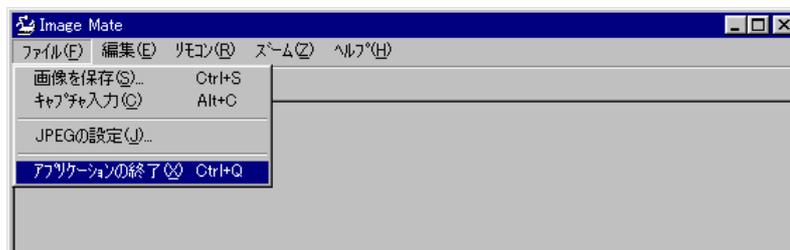


アプリケーションを終了する

アプリケーションを終了する

キャプチャされた画像はアプリケーションを終了させる前に保存して下さい。

1. ツールバーの  「終了」か、メニューバーの [ファイル]-[アプリケーションの終了]を選択します。



エラーメッセージがでたら

アプリケーションの操作中にさまざまな原因でエラーメッセージがでることがあります。下記に代表的なエラーメッセージと、その対応方法がありますので参考にして下さい。

メッセージ **USB:通信(送信)に失敗しました**

- 原因** アプリケーションから本体にコマンドを送れないためです。
その要因として、
 1)デバイス ドライバがPC に正しくインストールされていないとき
 2)USB ケーブルが不良のとき
 3)本体の異常
などがあります。
- 対応方法** コンピューター、USB ケーブル、 本体を確認して下さい。

メッセージ **USB:通信(受信)に失敗しました**

- 原因** アプリケーションが本体のデータを受信できないためです。
その要因として、
 1) USB ケーブルの不良
 2) 本体の異常
などがあります。
- 対応方法** USB ケーブル、 本体を確認して下さい。

メッセージ **USB:通信(画像キャプチャ)に失敗しました**

- 原因** 本体から画像をキャプチャ中に、通信の異常が発生したためです。
- 対応方法** 本体を確認し、本体と Windows を再起動して下さい。

メッセージ **USB:通信に失敗しました**

- 原因** 上記以外の理由で本体との通信ができなくなったためです。
- 対応方法** 本体を確認し、本体と Windows を再起動して下さい。

メッセージ **USB:本体との接続が切れました**

- 原因** 本体の電源が切られたか、USB ケーブルが外れたためです。
- 対応方法** 本体と USB ケーブルを確認して下さい。

メッセージ **RGB 出力設定が XGA 出力になっていません**

- 原因** 本体の RGB 出力設定が XGA 出力になっていません。
- 対応方法** 本体の RGB 出力設定を XGA 出力に設定してください。

メッセージ **割り当てる為のメモリが不足しています**

原因 アプリケーションが必要としているメモリが不足しているためです。

対応方法 使用していない他のアプリケーションを終了したり、不要なドライバを削除して下さい。

メッセージ **画像のセーブに失敗しました**

原因 画像をファイルにセーブする際に、エラーが発生したためです。または空きディスクの容量が足りないためです。

対応方法 ディスクの空き容量を確認して下さい。

- 本書の内容および Image Mate™ アプリケーションは、将来予告なしに変更することがあります。
- Image Mate™ のご使用により生じた直接および間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承下さい。
- Image Mate™ アプリケーションを無断で複製、販売、改造やリバース エンジニアリング等を行うことは禁止されています。
- Image Mate™ は、株式会社 エルモ社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated の商標です。
- XGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。
- LEADTOOLS Copyright©1991-1998 LEAD Technologies, Inc.

本書で使用している画像は説明用のもので、実際の画像とは異なる場合があります。